

高山の文化

No.175 2016.4.6 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行

高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877

メールアドレス ●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス ●http://www.takayama-bunka.org
(文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)



版画「飛驒の關鶏楽」守 洞春
昭和41年 第32回東光展出品、60号
昭和57年、本人より文化会館へ寄贈
大ホール2Fギャラリーにて展示

日頃は、一般社団法人高山市文化協会の活動に格別のご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。平成二十七年事業につきましては、会員の皆様はじめ市民の方々のご理解をいただき、予定しました事業も滞ることなく進めることが出来ました。本当にありがとうございます。

近隣町村と合併して十一年が経過した本年二十八年度事業の一つとして、支所地域との文化交流活性化による高山の文化活動の底上げを進めたいと考えています。

日和地区の「めでた」、国府町の「金蔵獅子」、秋神地区の「天狗まつり」のほか、各地域の「祭礼」で繰り広げられる特徴ある伝統文化は、高山市共通の財産であり、その価値を市民がお互いに共有することが極めて重要です。

そのために一緒に行動していただける仲間・文化協会員を増やし、地元の文化を一層発展させるきっかけをつくり、併せて当協会の体制の強化に取り組みたいと思っております。

今年、高山市制施行八十周年、高山山駅舎及び東西自由通路の完成、第二回飛驒高山文化芸術祭ごだまり、2016の開催など、高山市の経済、環境、文化において大きく飛躍する年になると期



一般社団法人 高山市文化協会
会長 小林 浩

高山市民の「高山市文化協会として」

去る一月には、高山市民文化会館整備基金に多額の寄付をさせていただき、新しい文化会館建設計画推進に向けた運動を具体的にスタートさせました。本年度は、この運動の輪をさらに大きく、より一層広げて参ります。

また一昨年、市内から映画館が無くなり、当協会では映画文化の衰退を懸念して、市民文化会館にて映画会「ワン

コイン・シスター」を開催いたしました。今後も、多くの映画ファンの皆様の期待にいくらかでも沿えるよう、努力して参ります。

一方で、昨今の法律改正による社団法人制度及び消費税などの改正と、諸物価の高騰などの要因もあって、当協会の活動を継続発展させるには、財政の確立を図る必要があるとの判断に至りました。

そのため、会費などを含め最小限度のご負担を皆様方にお願しなければなりません。どうかご理解を賜わりますようお願いいたします。

「大根を生で食べるより、漬けてタクアンにした方がうまい。だから塩した正月の飛驒ブリは生のブリよりうまいのだ」と、溝際一男さんは言った。

芸術の世界でジャポニズムがパリで大きな影響を与えたように、和食も今や世界的に広がっている。

いま韓和には不協和音が響くけど、長い歴史の中では共にハシを使うタメシ文化。

タテもヨコも皆で仲良く飲んで食べれば、縦横無尽。

高山市文化協会 会員募集

~高山の文化と一緒に支えてください~

高山市文化協会は、芸術・学術の普及と向上に関する事業を実施し、会員の皆様とともに地域の文化振興と発展に寄与することを目的として設立されている一般社団法人です。この趣旨に賛同いただき、ぜひご入会下さい。

- ◆入会資格 どなたでもご入会いただけます。
- ◆年会費 個人3,000円、団体6,000円、賛助(企業)10,000円
- ◆特典① 毎月発行される広報「高山の文化」を郵送します。
- ◆特典② 高山メセナメイトと同様の会員資格(チケット優待、メセナメイトツアーへの参加、年4回のメセナメイト会報の送付)が得られます。なお、団体会員は2名分、賛助会員は3名分の会員資格を有します。
- ◆特典③ 団体会員は、発表会などの告知や団体の紹介記事などの掲載及び、Hit's FMでの広報を行うことが出来ます(要申込)また、毎年6月頃に開催する「高山文化フォーラム」へ参加いただけます。会員のみの参加できる研修旅行や講演会などがあります。
- ◆特典④

「風目(一目)」

ドイツのフランクフルトで「韓中和食」という看板の店があちこちにあって驚いたことがある。ユッケもビビンバも麻婆豆腐も刺身も天婦羅も何でもござれ。ドイツ人にしてみれば、皆同じようなもので「いこ変わらん」のだろう。

外国にいる日本人同士でメシを食う時、「ヨコメシか?」「タテメシか?」とよく言う。和食のお品書きは縦書きで、洋食のメニューは横書き。

神岡の山之村の寒干し大根がフランスに輸出される。去年はイタリアのミラノ万博に出品した自然食。「大根を生で食べるより、漬けてタクアンにした方がうまい。だから塩した正月の飛驒ブリは生のブリよりうまいのだ」と、溝際一男さんは言った。

芸術の世界でジャポニズムがパリで大きな影響を与えたように、和食も今や世界的に広がっている。

いま韓和には不協和音が響くけど、長い歴史の中では共にハシを使うタメシ文化。

タテもヨコも皆で仲良く飲んで食べれば、縦横無尽。

(ガンモン毛筆)

高山市文化芸術鑑賞事業

主催 高山市(一社)高山市文化協会 お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org



「伝統と革新」を追求し、
津軽三味線の可能性を広げ続けている上妻宏光。
ピアノとのデュオで、
新たな日本様式の創作が始まる。

Hiromitsu Agatsuma

上妻宏光

“Standard Songs” 2016
~三味線とPIANOで奏でる名曲達~

平成28年
5/13 金
午後7時開演 / 午後6時30分開場

チケット料金(税込) 全席指定
〔一般〕2,500円
〔メセナメイト会員〕2,000円
〔ジュニア(18才以下)〕1,000円
プレイガイド ※未就学児入場不可

完売御礼

高山市民文化会館 高山市昭和町1丁目188-1
小ホール 高山市昭和町1丁目188-1
高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛驒市文化交流センター tel.0577-73-0180



中国民族芸術団&中国大黄河雑技団 京劇「孫悟空」と中国雑技

中国各地の芸術団、雑技団から選抜された
トップレベルの演者が、京劇「孫悟空」の場面と
各種の妙技、雑技を披露します。



プログラムは、スーパー民族縁起芸能「獅子舞」や京劇「孫悟空大戦白骨精」柔術「流星」フライングなど。
※内容は変更となる場合がございます。

平成28年
5/29 日 午後3時30分開演
午後3時開場

久々野公民館ホール

高山市久々野町久々野1505-4
チケット料金(税込) 〔一般〕1,500円〔メセナメイト会員〕1,000円
全席自由 〔ジュニア(18才以下)〕500円 ※未就学児入場不可、席使用時有料
チケット発売 4月9日(土) 午前10時~
プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
久々野公民館 tel.0577-52-3112



市原悦子 朗読とお話の世界

20年間にわたる長寿番組
「まんが日本昔ばなし(TBS系)」でお馴染みの
市原悦子が贈る、心洗われる時間。
民話や童話などを、トークを交え独特の声と心に響く
感情豊かな語りでお届けします。

チケット
好評販売中

平成28年
5/22 日
午後2時開演 / 午後1時30分開場

チケット料金(税込) 全席指定
〔一般〕2,000円
〔メセナメイト会員〕1,500円
〔ジュニア(18才以下)〕500円
プレイガイド ※未就学児入場不可

こくふ交流センター 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
さくらホール 高山市国府町広瀬町880 さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480
飛驒市文化交流センター tel.0577-73-0180

トム・プロジェクトプロデュース

風間杜夫ひとり芝居 正義の味方



これにて見納め!
お見逃しなく!

衰えを知らぬ精神と体力と演技力を発揮し、
等身大の作品で観客を魅せる
風間杜夫のひとり芝居です!!

平成28年
6/13 月 午後7時開演
午後6時30分開場

高山市民文化会館 小ホール

高山市昭和町1丁目188-1
チケット料金(税込) 〔一般〕2,000円〔メセナメイト会員〕1,500円
全席指定 〔ジュニア(18才以下)〕500円 ※未就学児入場不可
チケット発売 4月16日(土) 午前10時~
プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
飛驒市文化交流センター tel.0577-73-0180

市制80周年記念飾り物展開催

1936年(昭和11年)、高山市と大名田町が合併して高山市が誕生しました。それから80年が経過し、幾度かの合併を経て日本一の面積を持つ市へと発展してきました。

高山市文化協会では、市制80周年となる11月に、これを祝う飾り物展を開催します。また、この時期には新高山駅舎も完成することから、テーマを「市制80周年」と「新高山駅舎」として、広く市民の皆様には「飾り物」を募集する予定です。

募集要項は、9月発行の広報「高山の文化」でお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

- ◇日時 11月1日(火)～3日(木・祝)
- ◇会場 高山市民文化会館 四階和室
- ◇テーマ 「市制80周年」または「新高山駅舎」

平成18年の市制70周年の際には、高山市文化伝承館で飾り物展が開催され、以下の作品が入賞しました。



(一社)高山市文化協会 平成28年度事業計画

月日	事業名	内容・場所
毎月開催	理事会・評議員会	
随時開催	三役会、各委員会	
随時	市長と語る会	
〃	国内・国外他都市との文化団体の交流	
通年	市近代文学館の研究・調査	市近代文学館の研究・調査資料収集
〃	指定管理受託	市民文化会館、文化伝承館、国府文化ホール、松本家住宅、宮地家住宅
〃	高山市文化協会組織強化	高山市文化協会・メナメイト会員随時募集
〃	ホームページ	市民文化会館自主事業・文化協会事業案内
〃	自然環境保護事業	自然保護事業の取り組みについて 自然探索・村上敦氏講演会
〃	初心者入門講座の開設継続	初心者入門講座の開設継続
〃	広報発行	月1回程度発行 事業案内・作品募集等
〃	新市民文化会館建設推進運動	市民啓発・募金活動
随時	高山市文化伝承館「道伝えの日」	4/23-24道伝え茶会・飾り物展、お月見歌会、芭蕉忌句会 他
5月13日	上妻宏光Standard Songs 2016	文化芸術鑑賞事業 文化会館小ホール
5月22日	市原悦子 朗読とお話の世界	文化芸術鑑賞事業 こくふ交流センター
5月29日	京劇「孫悟空」と中国雑技	文化芸術鑑賞事業 久々野公民館
5月下旬	平成28年 定期総会	平成27年度決算総会
6月4日-5日	高山文化フォーラム2016	市民文化会館 芸術・展示
6月13日	風間社夫ひとり芝居「正義の味方」	文化芸術鑑賞事業 文化会館小ホール
6月23日	桂文珍 爆笑寄席!	文化芸術鑑賞事業 丹生川文化ホール
6月中旬	第16回市民歴史散歩	
8月18日	文学碑掃苔	文学散歩道整備・清掃
9月2日～4日	日本板画院 東海支部 高山展	高山市民文化会館 4階大会議室
9月10日	フォレストコンサートin高山	文化芸術鑑賞事業 文化会館大ホール
9月24日-25日	第25回 近代文学館企画展	高山市近代文学館 煥章館
10月3日	松竹大歌舞伎(市川猿之助)	文化芸術鑑賞事業 文化会館大ホール
10月19日	BEGINコンサート	文化芸術鑑賞事業 文化会館大ホール
11月1日～3日	市制80周年記念飾り物展	高山市民文化会館
11月下旬	飛騨文芸No.40	文芸祭入賞作品集発行
11月～12月	第40回飛騨文芸祭青竜賞表彰	高山市民文化会館
12月4日	水口聡、アンサンブル金沢	文化芸術鑑賞事業 こくふ交流センター
平成29年1月1日	新年市民互礼会 文化功労者顕彰 第40回飛騨文芸祭入賞者表彰式	高山グリーンホテル
1月13日～15日	飾り物展	市民文化会館 3階講堂
2月17日～19日	文化協会特別展	市民文化会館 3階講堂
3月11日-12日	第26回 近代文学館企画展	高山市近代文学館 煥章館
3月18日	近代文学館講演会	高山市近代文学館 煥章館
3月下旬	平成29年 定期総会	平成29年度予算総会
未定	会員研修旅行	先進地・施設研修
〃	文化講演会(自然環境とまちづくり)	高山市民文化会館
〃	映画会	高山市民文化会館

※この他にもいくつかの事業を予定しています
※日程は変更する場合がありますので、ご了承ください

高山の文化を高めた人々 No. 65

森本 栄樹のこと
森本 花文



天満神社、茶室にて

父(栄樹)は明治二十年十月二十六日、高山市春日町に生まれ、幼時は、祖父森本古泉に育てられました。

祖父は、茶道宗和流の継承者でもあったので、父が子供の頃は、学校から帰ると気の

合う友人と共に見れば真似て点前の真似をして遊んだそうです。子供なので抹茶の代わりに黄豆粉を使っていたと言っていました。



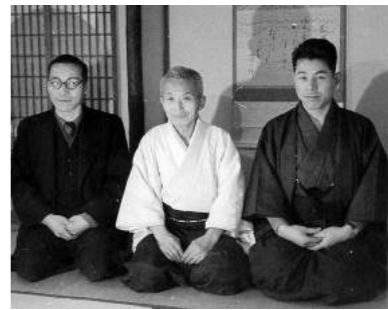
昭和23年ごろ、天満神社「杵底庵」にて

父の職業は神職なのですが、多趣味な人でもありません。神職としての学問は、当時宮村の水無神社松井宮司に教えを受け、謡曲は伊勢神宮宮司の上原清二氏に、和歌は田中大秀先生の流れをくむ「まゆみその会」に出席して短冊を残しております。また、登山も好きで、上原宮司や小林幹先生らと、「御岳の山開き」などにはしばしば足を運んでいたようです。

「神道の教義は？」と聞かれても、「良いことか悪いことかは己の胸に開けば判ること」との考えから、一般の人には細かい教義は必要ないと、特別なことのない限り

父が一人前の神職となったころ、世の中は戦争の真只中に没入し、毎日毎日戦地へ旅立つ人の必勝祈念のお祓いに明け暮れ、「茶道」からは遠くなくなってしまいました。ようやく終戦となりポツポツと茶道の弟子たちも戻り、少しずつ稽古を始めるようになりました。

また、先代古泉翁の時代は、社中名を「清風社」と言っておりましたが、栄樹の時代には「心身共に清潔、目利物数寄」という茶道の心得から「四常社」と改めました。



左から杉原氏、父(栄樹)、野畑氏

道を求めてくる人たちに残された日々を生き続ける中に、宗和流茶道が高山市から「無形文化財」の指定を受けたことを無常の光栄とし、その感激を

道伝えの日 茶会

平成十七年の高山市文化伝承館開館当初より行われていたが、恒例行事です。

となく難しいものと思われがちなお茶を、気軽に楽しみたいので、桜の花咲く城山へお出かけください。

今回は、裏千家淡交会と松風流泉月会のお手前です。また併せて、一月に開催した「新春飾り物展」の優秀作品も展示します。皆様のお越しをお待ちしております。

◇会場 高山市文化伝承館 (城山号砲平下)

◇時間 午前10時～午後4時

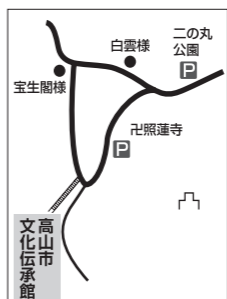
◇料金 無料

◇お茶 呈茶券三百円(当日券有)。文化会館及び市内茶舗にて販売

◇飾り物優秀作品展 干支「申」と歌会始のお題「人」をテーマにした入賞作品十二点と、高山飾り物同好会の参考作品を展示します。

〇時間 午前10時～午後4時

〇料金 無料



第40回 飛騨文芸祭作品募集

- 応募資格 飛騨三市一村に在住か通勤、出身の方
 - 対象作品 平成二十七年八月十六日から平成二十八年八月十五日までに創作または発表した作品(既発表作品も可)
 - 小説、戯曲、児童文学等 四百字詰原稿用紙百枚以内 一篇
 - 随筆、評論等 四百字詰原稿用紙二十枚以内 一篇
 - 現代詩 三篇
 - 短歌、俳句 十首(句) 五首(句)
- ※必ず、規定の篇(首・句)で応募してください。超えても不足しても審査の対象となりません

- 応募方法 ①自主応募②団体や結社等による推薦(推薦用紙は適宜)
- 応募作品に、小説・戯曲・随筆・現代詩などの区別を明記し、住所、氏名、電話番号を記入
- 高校生以下の応募者は、学校名と学年を明記
- 封筒に「文芸祭応募」と記入

- 既発表作品の場合は、印刷物またはコピーによる提出も可
- メールによる応募も可
- 対象作品中①、②の入賞作については、デジタルデータも提出していただきます
- 応募締切 平成二十八年八月十五日(当日消印可)
- 送付先 〒五〇六・〇〇五三 高山市昭和町一丁目一八八・一(一社)高山市文化協会メールの場合 mail@takayama-bunka.org
- 審査 高山市文化協会文芸部委員と文芸部門より選出の役員で予選し、最終審査は、必要に
- 発表 十月中旬に入賞者へ通知、広報「高山の文化」等に掲載
- 賞 文芸祭賞 一人 賞状及び副賞 江夏美好賞(小説のみ) 一人 賞状及び副賞 入賞(高山市長賞ほか) 十人 賞状及び副賞 青竜賞(高校生以下) 若干名 賞状及び副賞
- その他 応募作品は返却しません
- 問合せ先 高山市文化協会 TEL 三四・六五五〇



平成元年 第34回末広会

末広会は戦後間もない頃、船橋で日本舞踊と三味線の師匠をしていた私の叔母上仲鈴子(おんね)が、舞踊では西川歳造、三味線では柏伊千蔵として高山に出稽古に来るようになり設立されました。

設立間もない高山市文化協会に入会、高山の文化の発展に協力し、毎年の喜多座での文化祭に参加しました。さらには毎年「末広会」の公演も開催し、昼夜の公演でしたがいつも長い行列ができ、市民の皆さんが楽しみにしてくださっていました。

市制周年記念行事には、仮装をし三味線を流して、提灯行列に参加したこともありました。

その師匠が「二十三回末広会」を最後に急死され、私が舞踊の方を引き継ぎました。

昭和四十九年に、私が会主として初の「二十四回末広会西川歳造追悼公演」を開催、高山市民文化会館においてプロの演奏による会を二、三年毎に開催してきました。

現在会長の西川征二郎(加藤邦二)以下、師範名取七名、名取十五名ほどの会員で、高齢化にもめげず今年の七月三日に開催予定の「第四十三回西川流末広会公演」に向けて張り切っています。

4月23日(土) 24日(日)

お茶会と飾り物